

「なぜ」から始まる 科学的思考文化の定着 (平成30年度重点努力目標)

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。「なぜ」から始まる科学的思考文化の定着を平成30年度の重点努力目標として教育活動を行っています。

1年有法子 テーマ「国際」

今回は、「防災」「経済」に続き、3つ目のテーマである「国際」について、西条市役所企画情報課・国際交流係の石村美歩さんに基調講演を行っていただき、「地域における外国人と防災」や「国際交流と地域課題」について学習していきましました。



■ 講座1 地域における外国人と防災

西条市には、現在1300人余りの外国人の方が在住しています。その人たちが災害時にどういう事に困るのか、体験談を踏まえながら話していただきました。生徒は、高校生が被災した外国人に対してどういった手助けができるのかについて考えました。その後、下記のテーマに分かれて、グループ学習・発表を行いました。

- ① 地震がある国・ない国 ～ない国の方にどう地震を伝える?～
- ② 災害時に外国人に考えられることは? ～やさしい日本語をうまく使って表現しよう～
- ③ 外国人が非常時に持ち出す物は日本人と違う? ～避難所で外国人が陥る状況って?～
- ④ やさしい日本語を使って、防災オリジナルポスターを作ってみよう。
- ⑤ 身近な新聞紙を使って、災害活用グッズを作り、英語で説明してみよう。



■ 講座2 国際交流と地域課題

～ 企画立案編 ～

西条市国際交流協会は、未来に向けて国際交流を発展させていくために、あらゆる世代の人々が参加・活動できる様々なイベントを企画・実施しています。その中のいくつかを紹介していただきました。振り返り学習ではグループに分かれて、西条市民が参加できる国際交流に関するイベントの企画を行い、クラス内で発表しました。今後、クラスで出た良い企画を1年生全体で共有していく予定です。



専門講座

2・3年生対象に「総合的な学習の時間」の活動の1つとして、新書読書と並行して下記のテーマで専門講座を開講しました。生徒は、自分の進路に関係する講座を受講しました。

「医療系を目指す人へ」

愛媛県立医療技術大学保健科学部 学部長 中西 純子氏

「体験展示の開発と愛媛の科学者・技術者について」

愛媛県総合科学博物館 学芸課 科学・産業研究グループ
担当係長 久松 洋二氏

「国際協力、観光を仕事にする」

外務省 NGO 相談員 菅 美帆氏

「博物館での産業史研究・産業資料の収集・展示の仕事について」

愛媛県総合科学博物館 学芸課 科学・産業研究グループ
担当係長 吉村 久美子氏

「『スポーツビジネスについて』～卒業生が伝えるスポーツビジネスの魅力～」

エリエールライフ(株) 代表取締役社長 寺尾 浩司氏

「愛媛の昆虫について」

愛媛県総合科学博物館 学芸課 自然研究グループ
担当係長 大西 剛氏

■ 参加生徒の感想

- ・学芸員の研究分野は、今まで化石や歴史的遺物に関するものだけだと思っていましたが、今回お話ししていただいた地域産業のように、産業に関する研究もあると知り、研究対象の幅広さに驚きました。
- ・20%の先進国の人たちが、世界の総収入の81.5%を占有していることを知り、衝撃を受けた。日本は幸せな国なんだと改めて思った。だからこそ、日本が世界に向けてできることはたくさんあると思う。西条そして日本のことを知り、世界のために働ける人になりたい。